

平成21年(2009年) 一般個人向け会社説明会



コスモ・バイオ株式会社

2009.9.17

www.cosmobio.co.jp

JASDAQ
Listed Company 3386

目次

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

1. 会社概要
2. 事業内容と特長
3. 事業計画
4. 2009年12月期第2四半期決算の概要と
12月期業績見通し

会社概要

社名： コスモ・バイオ株式会社
業種： 卸売業
証券コード： 3386
本社所在地： 東京都江東区東陽2丁目2-20
代表者： 代表取締役社長 笠松 敏明
設立： 1983年8月
資本金： 918百万円
事業内容： ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の輸出入および国内販売
従業員数： 77名(他パート・派遣社員：25名)(単体)
連結子会社： 株式会社プライマリーセル
非連結子会社： Cosmo Bio USA, Inc.
持分法適用会社： ビーエム機器株式会社



3

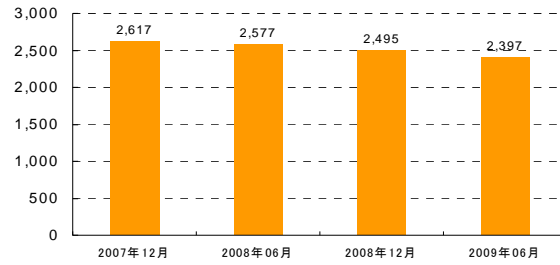
沿革

- | | |
|----------|--|
| 1983年8月 | 丸善石油株式会社(現、コスモ石油株式会社)の子会社として丸善石油バイオケミカル株式会社を設立 |
| 1986年4月 | コスモ・バイオ株式会社に社名変更、バイオ研究用機器販売を開始 |
| 2000年9月 | MBO(マネージメント・バイ・アウト)によりコスモ石油株式会社から独立 |
| 2004年8月 | 100%子会社COSMO BIO USA, INC.を米国カリフォルニア州サンディエゴに設立 |
| 2005年9月 | ジャスダック証券取引所へ上場 |
| 2006年12月 | 株式会社プライマリーセルの80%の株式を取得、子会社化 |
| 2007年11月 | ビーエム機器株式会社の発行済株式の30%を取得、持分法適用の関連会社化 |
| 2008年7月 | 株式会社プライマリーセルを100%子会社化 |

4

株式の状況

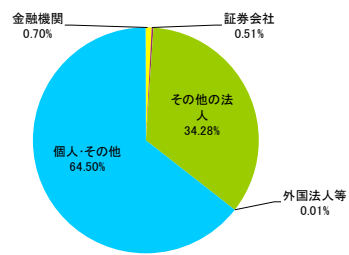
株主数の推移



大株主状況

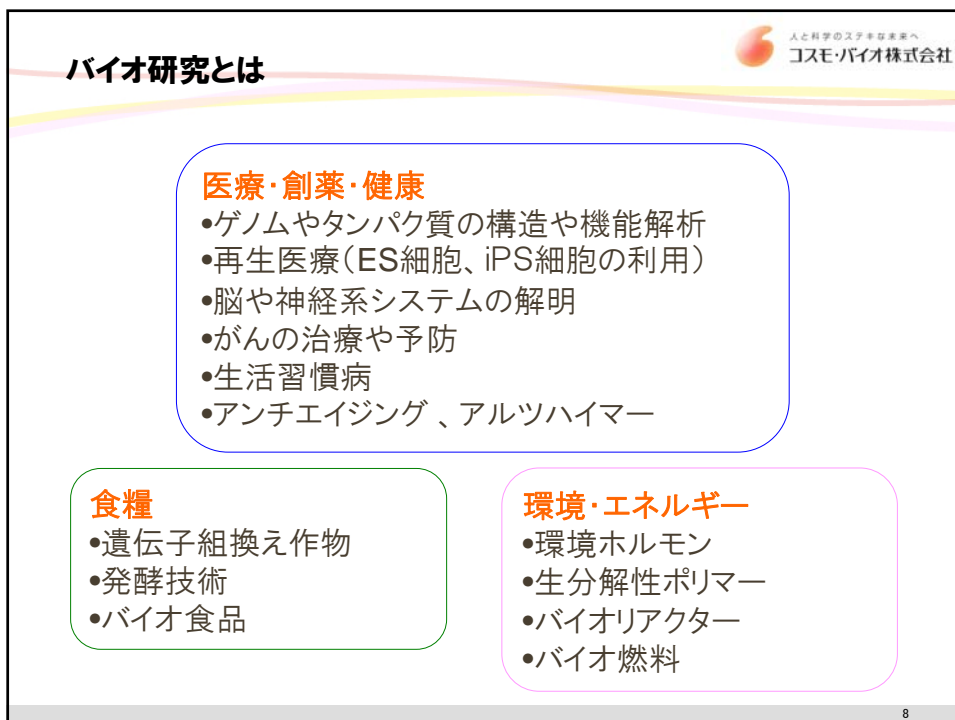
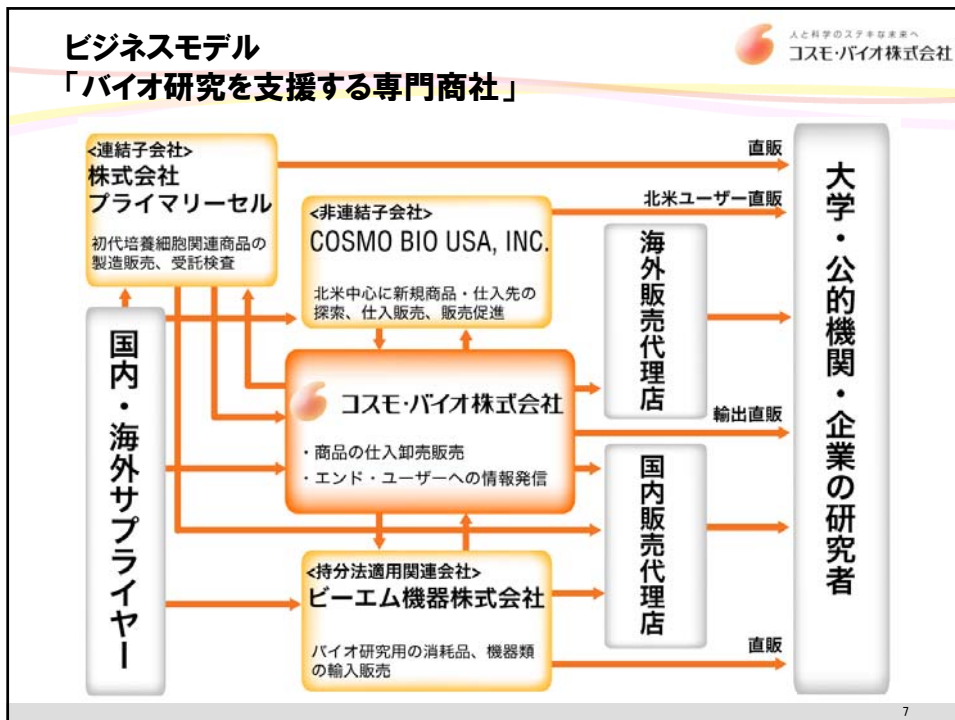
株主名	持株数(株)	持株比率
東京中小企業投資育成株式会社	11,520	19.0%
コスモ・バイオ従業員持株会	6,585	10.9%
コスモ石油株式会社	5,760	9.5%
福井 朗	3,000	5.0%
株式会社ブルボン	2,937	4.9%
原田 正憲	2,200	3.6%

所有者別株式分布状況



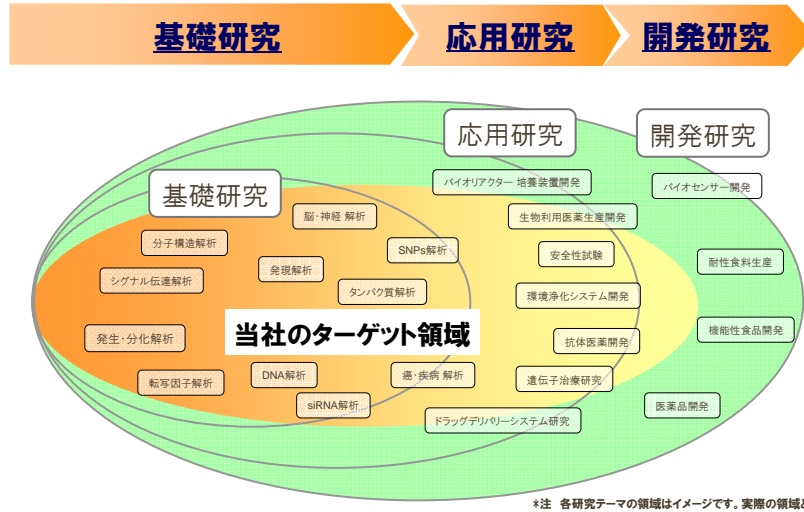
2. 事業内容と特長

www.cosmobio.co.jp



事業領域「バイオ研究支援」

- 基礎研究ステージを中心に幅広い領域をサポート



ビジネスの特徴

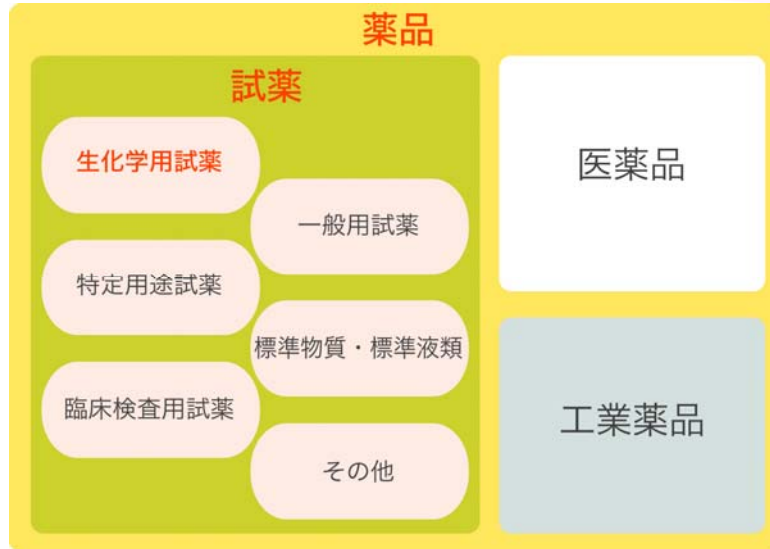
膨大な商品・情報と多様なユーザーニーズのマッチング

- ユーザーニーズに対応できる100万以上の豊富な商品
- 商品情報をデータベース化し、ユーザーが自在に検索可能
- 各種プロモーションツールによる専門性の高いサービス・情報の提供

〔ニーズとシーズのマッチング〕



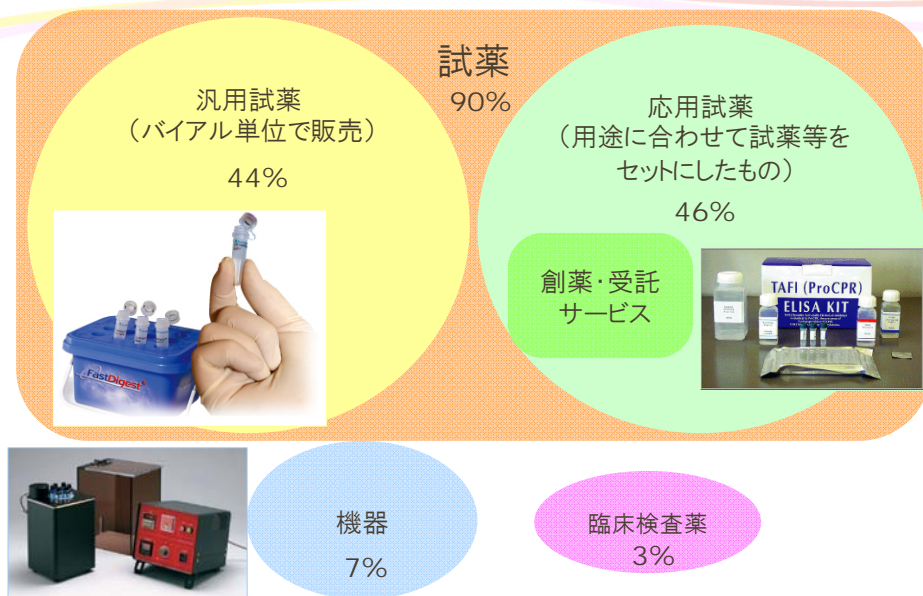
薬品の分類「当社の取扱う試薬」



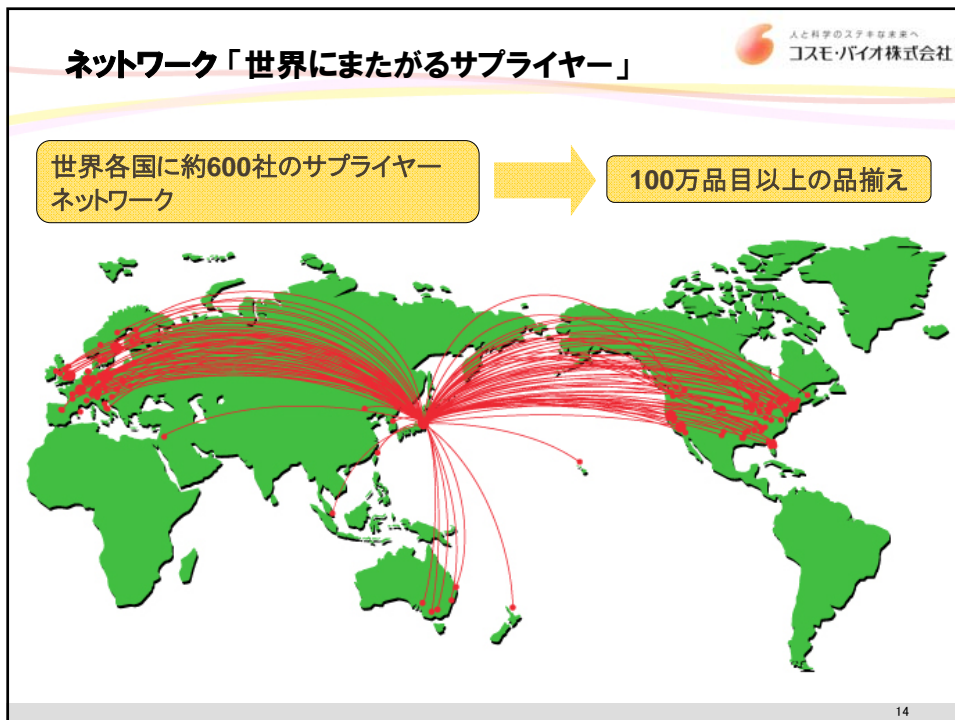
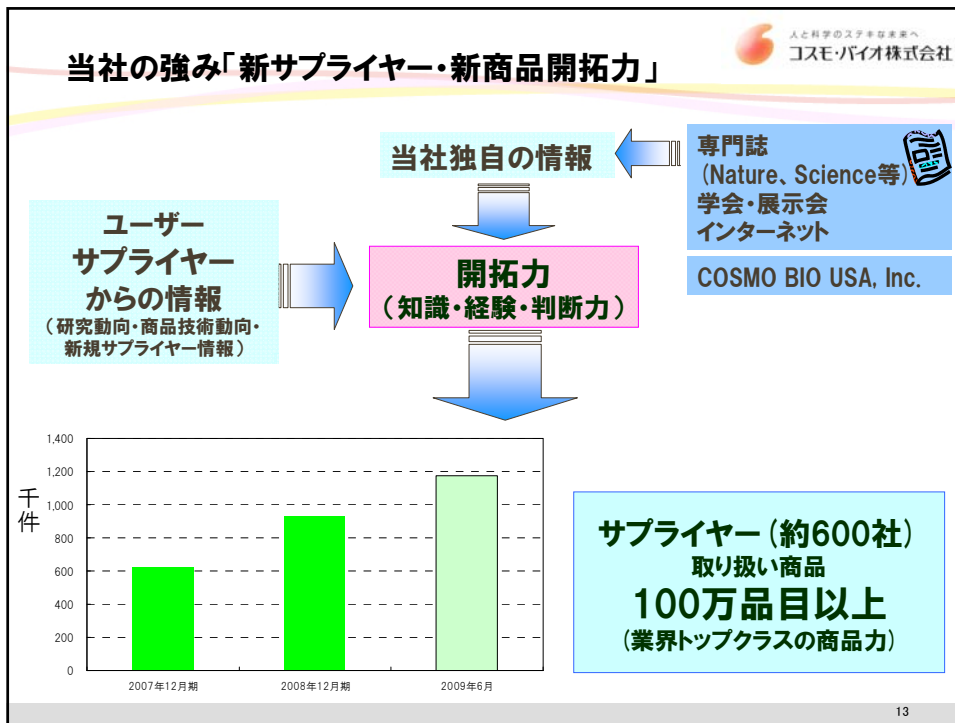
参考: 社団法人 日本試薬協会 ホームページ

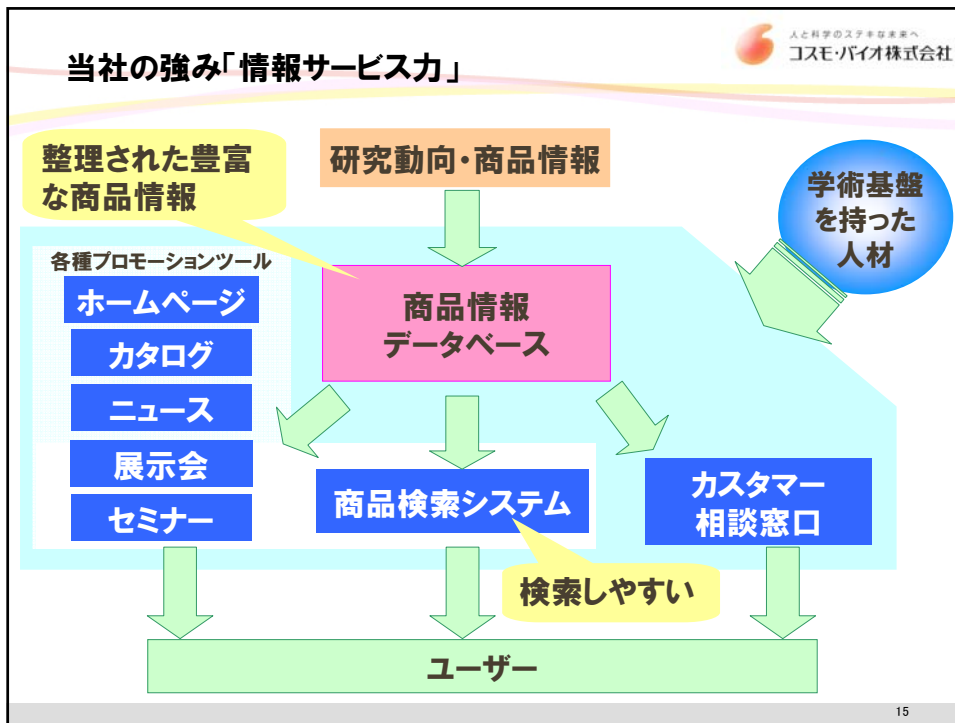
11

主な商品の分類と売上構成



12





人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

各種プロモーションツール

ホームページ

カタログ

ニュース

商品検索

品名	規格	メーカー	品名	規格	メーカー	品名	規格	メーカー
Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore	Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore	Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore
Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore	Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore	Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore
Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore	Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore	Anti SDFP-1 antibody	TarB&B	EMD Millipore

セミナー

展示会

16

3. 事業計画

www.cosmobio.co.jp

17

目標達成に向けた事業戦略

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

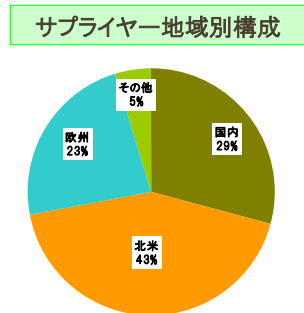
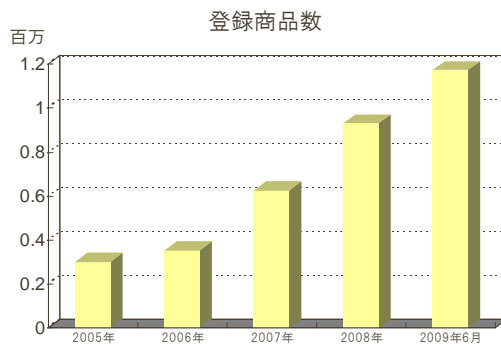
1. コア事業の強化
2. ブランドの創造
3. 海外展開の加速
4. 子会社、関連会社とのシナジーの創出

18

1. コア事業の強化「先端的商品の導入」

■ 先端技術を持ったサプライヤーからの先端的商品の導入

- 2009年
 - 新規サプライヤー：目標50社以上に対し既に新規43社と契約
 - サプライヤーとの信頼関係強化のため組織を強化

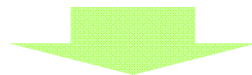


19

1. コア事業の強化

「差別化したサービスと効果的プロモーション」

- WEBにおける販売促進活動の強化
 - ホームページのリニューアル・・・下期実施予定
- 新たな体制による組織営業の推進
 - 代理店、ユーザーとの密接な関係構築
 - 新基幹システム導入とその活用・・・5月稼働開始
- お客様窓口による専門的な相談サービスなど



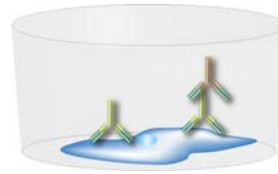
お客様に信頼され喜ばれる

20

1. コア事業の強化「細胞関連分野の強化」

- 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団と細胞培養培地関連技術のライセンス契約を締結
- ヒト細胞の輸入販売及び、子会社のプライマリーセル社でヒト細胞を扱った受託サービスの開始
- コスモ・バイオグループ生命倫理委員会の設置・開催
- 今後
 - セルベースアッセイ商品ラインナップの充実
 - ヒト細胞機能評価のためのアッセイ系の確立
 - 各種細胞培養培地の開発
 - 大学等の研究機関及びグループ外企業との連携

セルベースアッセイとは細胞レベルでの生体反応を調べる検出系全般をいいます



21

1. コア事業の強化「機器販売の強化」

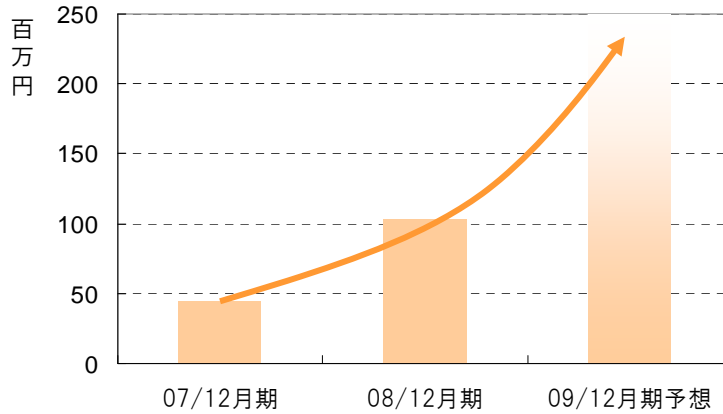
- 関係会社、特にビーエム機器社との連携を強化
- 機器営業と試薬営業の密接な情報連携
- 電気泳動装置、PCR装置、超音波細胞破碎装置など小型の機器を中心に展開



22

1. コア事業の強化「創薬支援」

- 専門知識を有する人材で構成されたチームで製薬企業のニーズにすばやく対応
- 順調に売上を伸ばす



23

2. ブランドの創造「社会的貢献」

- 大学の公開講座等に協賛
 - 2009年 第6回 公開講座応援団は11団体に協賛



愛知県がんセンター研究所「ノーベル賞に輝いた緑色蛍光タンパク質(GFP)で細胞を光らせよう」

団体名	応募講座名および目的
愛知県がんセンター研究所	高校生のための実験・体験コース「ノーベル賞に輝いた緑色蛍光タンパク質(GFP)で細胞を光らせよう」
秋田県立大曲農業高等学校	「博士号教員と一緒にバイオ実験を体験してみよう！-1日科学者体験講座」
宇都宮大学	中高生のためのバイオテクノロジー体験教室「クローン牛誕生の秘密に迫る！」
大分大学	「夏休み子供サイエンス2009」
帯広畜産大学	「DNA検査-米、肉、豆の品種鑑定をしよう！」
九州大学農学部附属農場	「体験！農業と食料・環境問題」
高知工業高等専門学校	「キャンパスアドベンチャー2009 秋」
東京工業大学生命理工学部	第18回高校生のための夏休み特別講習会「バイオの世界を探検してみよう」
福岡教育大学	小中学生のための科学実験教室「植物バイオの世界」
福島大学	「福島大学わくわくサイエンス屋台村」
和歌山工業高等専門学校物質工学科	「世界の化学・生物実験～Only One: 唯一の存在」

24

2. ブランドの創造「社会的貢献」

- 世界中のシグナル伝達の科学者たちのために創刊したオンラインジャーナル「Science Signaling」の日本語版サイトを提供



25

2. ブランドの創造「質の高い情報発信と顧客サービス」

■ 学術ミーティング

- 多数のミーティングにおいてセミナーの開催及び展示会への出展



学会名	開催日	会場	開催地
第11回 癌治療増感研究シンポジウム	2/14(土)~2/15(日)	猿沢荘	奈良
第36回 フラーレン・ナノチューブ学会	3/2(月)~3/4(水)	名城大学	愛知
第8回 日本再生医療学会総会	3/5(木)~3/6(金)	東京国際フォーラム	東京
日本農芸化学会2009年度大会	3/28(土)~3/29(日)	マリメッセ福岡	福岡
第98回 日本病理学会総会	5/1(金)~5/3(日)	京都国際会議場	京都
第6回 GPCR研究会	5/8(金)~5/9(土)	日本科学未来館	東京
第3回 日本エビジェネティクス研究会年会	5/22(金)~5/23(土)	学術総合センター	東京
第18回 日本バイオイメーキング学会	9/3(木)~9/5(土)	就実大学	岡山
第29回 日本糖質学会年会	9/9(水)~9/11(金)	飛騨・世界生活文化センター	岐阜
第68回 日本癌学会	10/1(木)~10/3(土)	パシフィコ横浜	神奈川
第82回 生化学会大会	10/22(木)~10/24(土)	神戸ポートアイランド	兵庫
第39回 日本免疫学会総会	12/2(水)~12/4(金)	大阪国際会議場	大阪
第32回 日本分子生物学学会年会	12/9(水)~12/12(土)	パシフィコ横浜	神奈川

26

2. ブランドの創造「質の高い情報発信と顧客サービス」

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

■ 印刷物

● 「コスモバイオニュース」



● 「リン酸化シグナル ハンドブック 第二版」の特集カタログを発行



● 下期に細胞培養関連の特集カタログを発行予定

27

2. ブランドの創造「自社ブランド商品」

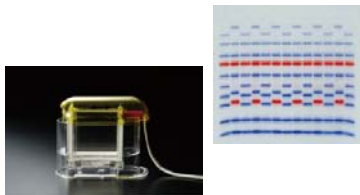
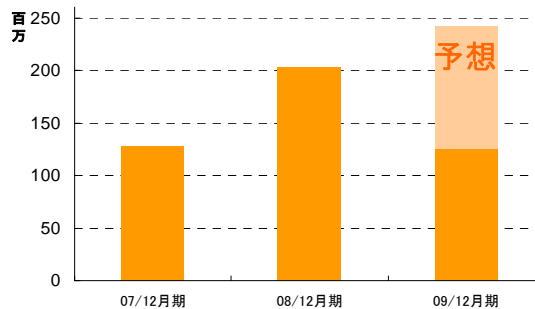
人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

■ 高品質自社ブランド商品の充実

- 高品質抗体ブランド商品
 - *CosmoBio Antibody Collection*
- 高品質電気泳動関連商品
 - i-MyRun(あいみらん)
 - マルチゲル
- 高品質細胞培地
 - コスメディウム



自社ブランド商品売上推移

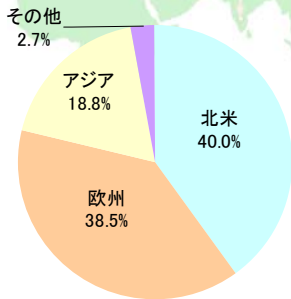


28

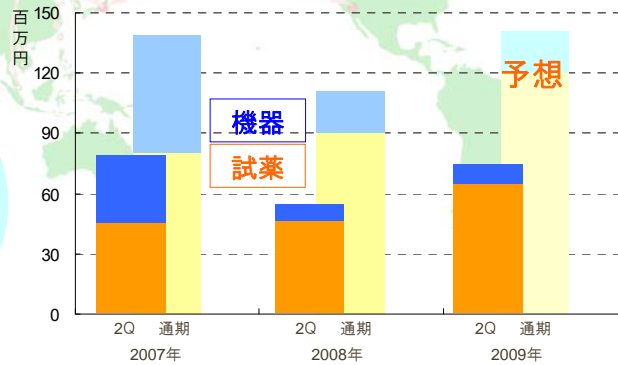
3. 海外展開の加速

- 試薬が好調で売上前年同期比36%増
- Cosmo Bio USAと連携した売上拡大
- Web、Eメール等を活用した効果的なプロモーション活動

09/12月期2Qにおける
販売先売上比率



輸出機器・試薬別売上推移



4. 子会社、出資会社とのシナジーの創出

製造

バーチャルスライド(顕微鏡画像システム)を製造販売

クラーロ

プライマリーセル

初代培養細胞(プライマリーセル)の研究開発から
製造・販売および細胞を用いた受託解析を行う

再生医療事業取り組むバイオベンチャー企業

リプロセル

再生医療分野のバイオ研究支援機器・材料事業
に取り組むバイオベンチャー企業

コアフロント

抗体作成に関する独自技術を持つ東京理科大学発のバイオベンチャー企業

バイオマトリックス

コスモ・バイオ

機器販売

ビーエム機器

バイオ研究用の消耗品、機器類の輸入販売事業を行う

海外展開

COSMOBIO USA

新規サプライヤー探索と輸出促進を行う

4. 2009年12月期第2四半期決算の概要と 12月期業績見通し

www.cosmobio.co.jp

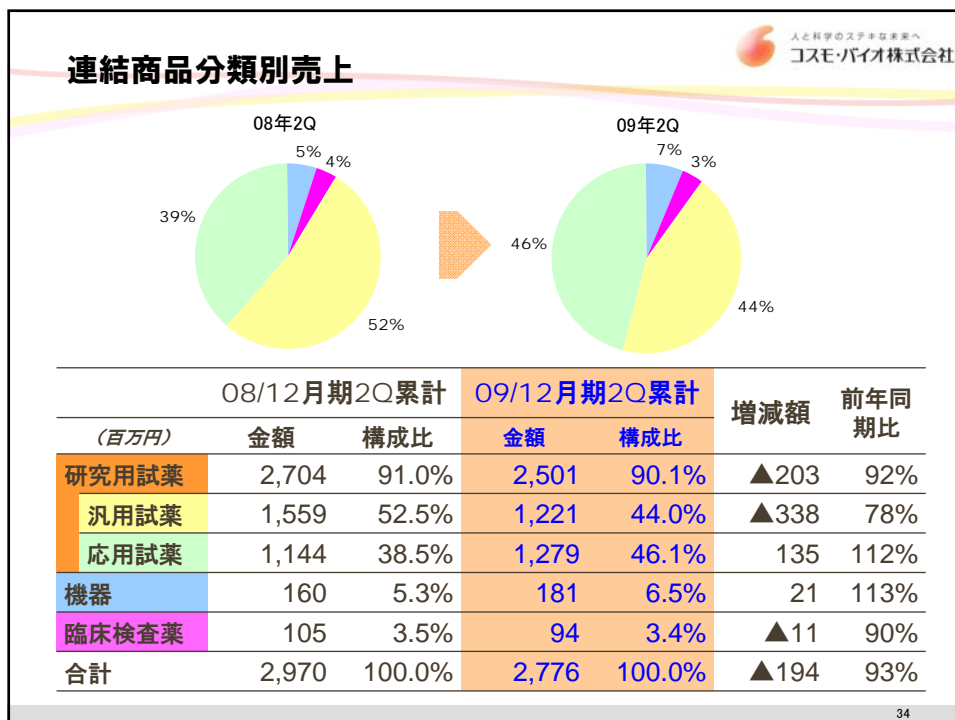
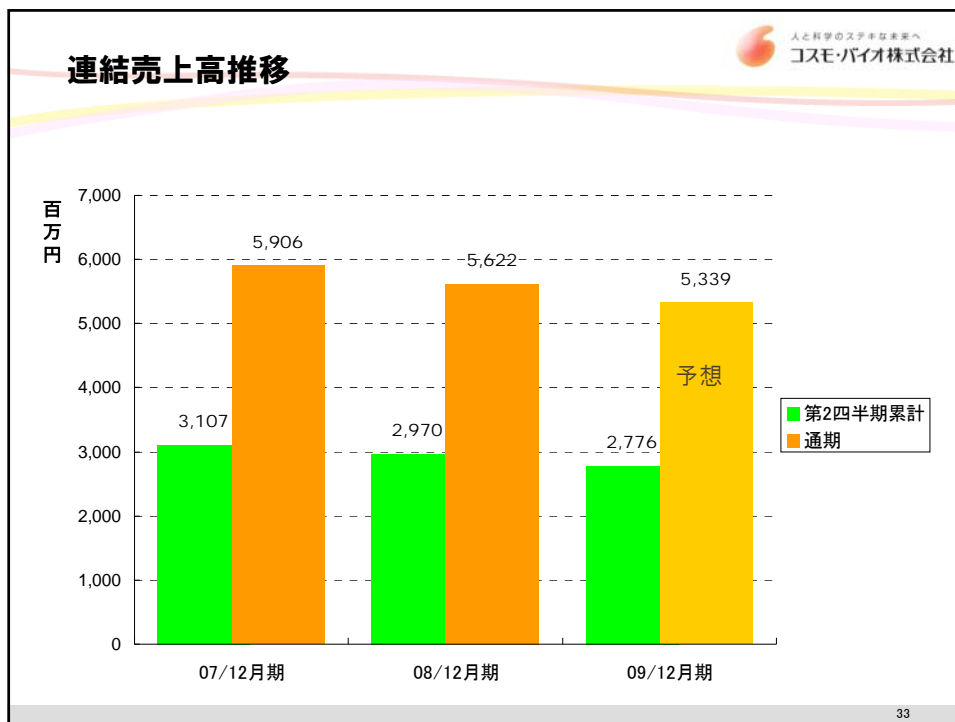
31

決算概況「連結損益計算書(前年同期比)」

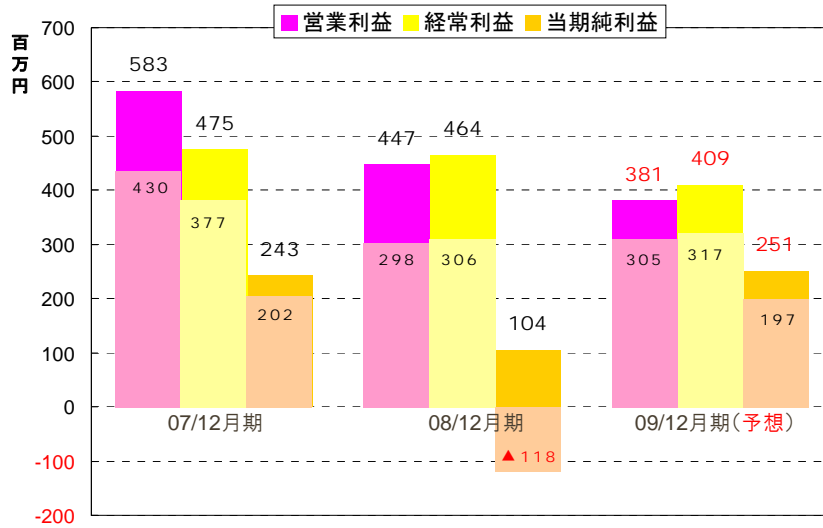
人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

(百万円)	2008年 第2四半期累計	2009年 第2四半期累計	増減額	前年同 期比
売上高	2,970	2,776	▲194	93%
売上総利益	1,171	1,138	▲33	97%
販管費	872	833	▲39	96%
営業利益	298	305	7	102%
経常利益	306	317	11	104%
当期純利益	▲118	197	315	—

32



連結利益推移



35

連結貸借対照表

(百万円)	2008年12月末	2009年6月末	増減額
総資産	5,194	5,328	134
流動資産	3,927	3,909	▲18
固定資産	1,267	1,418	151
負債合計	1,009	955	▲54
純資産合計	4,184	4,373	189
株主資本	4,292	4,424	132
評価・換算差額等	▲108	▲51	57
自己資本比率	80.6%	82.1%	

36

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2008年 第2四半期累計	2009年 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	557	654	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	13	▲425	▲438
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲151	▲66	85
現金および現金同等物の増加額	418	161	▲257
現金および現金同等物の四半期末残高	1,137	1,368	230

37

2009年12月期の連結業績見通し

(百万円)	2008年12月 期実績	2009年12月期		対前年実績	
		予想(修正前)	予想(修正後)	増減額	増減率
売上高	5,622	5,339	5,339	▲283	▲5.0%
営業利益	447	341	381	▲66	▲23.8%
経常利益	464	371	409	▲55	▲20.1%
純利益	104	216	251	147	106.8%

	08/12月期	09/12月期(予想)
配当金	1,100円	1,200円
平均為替レート	08/12月期	09/12月期(計画)
円/USドル	105円	100円

第2四半期の実績を取り込み、下期は当初予想通りに推移すると想定。

38

配当方針

- 株主に対する利益還元は、経営の重要な課題の一つ
- 安定配当を行っていくことを念頭に置き、配当性向を重視しつつ、今後の収益状況の見通しなどを総合的に勘案して決定
- 当期の通期配当(期末配当)として当初予想どおり、1株当たり1,200円を予定

ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。